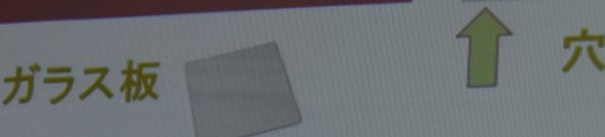


分離の病

時間: 過去と現在 / 現在と未来
 知: 知と知 / 知と行 / 知と情 / 過去知と現在知
 人間: 人と自然 / 親と子 / 生徒と教師 / 公と私
 先祖と現世 / 此の世と彼の世
 空間: 土壌圏と大気圏 / 水圏と大気圏 /
 土壌圏と生物圏 / 人間圏と他圏
 ヒト: 体と心 / 体と脳 / 腸と脳 / 運動と認知
 科学: 社会科学と自然科学 / 農学と医学 / 農学
 と環境科学 / 環境科学と医学
環境を通した農医連携

1. 分離の病
2. 農医連携とは?
3. 農医連携を心した人びと
4. 代替農業と代替医療
5. 農医連携の動き: 日本とタイの例
6. 土壌と癒し
7. 農業の7次産業をめざして

環境を通した農医連携論



農学の世界と医学の世界の境界は、ただ一枚のガラス板で仕切られている。ヒポクラテスの時代には、このガラスは存在しなかった。このガラスは、分離された科学の究明によって曇ってくることもある。さらに科学の進化と深化によって、ちりによごれて曇っていくこともある。二つの世界の間の通路としては、通例、ただ小さな狭い穴が一つ明いているだけである。しかし、始終ふたつの世界に出入していると、この穴はだんだん大きくなる。しかしまた、この穴は、しばらく出入しないしていると、自然に狭くなって来る。ある人は、初めからこの穴の存在を知らないか、また知っていても別にそれを捜そうともしない。それは、ガラスが曇っていて、反対の側が見えないためか、あるいは.....あまりに忙しいために。穴を見つけても通れない人もある。しかし、どんな人でも、人の健康や心の問題を考えると、通り抜けられるようになることはある。まれに、きわめてまれに、天の災を取って来てこの境界のガラス板をすっかり溶かしてしてしまう人がある。

「寺田寅彦著: 柿の種」の応用



土壌圏から大気圏へ発生するガス成分

CO₂ (有機物) ↑ 温室効果ガス:GHG

CH₄ (水田・湿地) ↑ 温室効果ガス:GHG

N₂O (窒素肥料など) ↑ 温室効果ガス:GHG

オゾン層破壊: ozone destroy

他にもCOS、CS₂、CH₃SH、DMS、H₂Sなど

